

## 語彙の構造・分業性

「1編の詩」という意味の英語は a poem か a piece of poetry か？

浜口 仁

先ず、下の(A)(B)から見てみよう。(A)(B)のそれぞれ左右の語句の意味は同じでしょうか。

a cake      a piece of cake      (A)  
a stone      a piece of stone      (B)

(A)の左右の語句は、「ケーキ」という意味ではほぼ同じであるが、正確には異なる。一定の形をした1つの大きなケーキを a cake, それを切った一切れを a piece of cake という。前者の cake は不連続体であるから可算名詞(countable noun)(以下C名詞), 後者の cake は連続体(continuum)であるから物質名詞で不可算名詞(uncountable noun)(以下U名詞)である。この意味では \*a cake とはできない。その各々の cake の文法的な働きが異なる。だから、さらに例えば、後者は \*two[three] cakes のようにはできないが、前者は two[three] cakes のようにできる。

次に(B)の2つの句はどのように異なるのか。cake とまったく同じように考えればよろしい。a stone は「小石、石ころ」を意味し、不連続体であるからC名詞である。a piece of stone の stone は「石材、岩石を構成する石」を意味し連続体であり、U名詞である。この意味では \*a stone のように不定冠詞はつかない。また数詞もつかない。\*two [three] stones.

このように同一の語彙項目(lexical item)(ここでは cake なり stone)が、ある時にはC名詞、またある時にはU名詞として使われる。brick も同様である。これは1人2役であるといえる。

次に(1)(2)を見てみよう。(1)は集合的に「詩」を意味しU名詞である(poetry は集合名詞)。

poetry      (1)  
poem      (2)  
\* a poetry      (3)  
\* two poetries      (4)  
a poem      (5)  
two poems      (6)  
a piece of poetry      (7)  
two pieces of poetry      (8)

従って、(3)(4)は不可である。(2)は「1編の詩」を指しC名詞である。(5)(6)は正しい句である。しかし、ここにおもしろい関係が見つかる。(5)(6)の意味を poetry を使って表すことが可能である((5)=(7),(6)=(8))。助数詞 piece を使ってほぼ同じ意味を表すことができる。(1)(2)の語彙には上のような関係がある。つまり、cake, stone などとは違って、2つの語彙がお互いにその役目を分業している。この2つの語彙はほぼ意味が同じなので(5)=(7),(6)=(8)のような関係が生ずる。stone, cake が1つの語彙でC名詞、U名詞の2つの役をこなしている場合と比較せよ。

このような関係は次のような語にも見つかる。(表1)の上の4組の語彙には、例えば、a piece of machinery = a machine の関係が確認されるが、それ以外の組についてはそういう関係があると思うが、確認はされていない。今後確認する必要がある。例えば a piece of foliage = a leaf のような関係があるはずであるが、左のような表現(a piece of foliage)がないとすれば、それはほとんど使われなくて日常の使用には a leaf だけ残ったものなのか？しかし、この表現はあっても少しも不思議ではない。

〈表 1〉

machinery	a machine
scenery	a scene
clothing	a garment
work	{ a task a job
foliage	a leaf ?
laughter	a laugh
arms	a weapon
permission	a permit
vocabulary	a word

(註1) work(仕事)の場合 a stroke[stitch] of work ともいう。work そのものがC名詞として使われると「作品、著作」などの意味になる。

(註2) laughterの助数詞を見つけるならば次のようになる。残念なことにそれぞれ意味がことなる。

a fit[shout, gale, ripple] of laughter

次に, furnitureを見てみよう。これはU名詞である(集合名詞)。machineryと同様, 次のようにはできない。

\* a furniture

\* two furnitures

数えるためには助数詞 piece, article が必要である。そして, 家具に属する個々の物は a table, a desk, a bed, a sideboard などのC名詞である。だから, a piece[two pieces] of furniture はこれらのうちいずれか1つ[いずれか2つ]を指す。luggage も同様である。a piece of luggage が a trunk であったり, a bag であったり, a suitcase であったりするわけです。

a piece of luggage	{	a trunk
		a bag
		a suitcase
		.
		.

money の場合は, これに替わるもの, 例えば, a dollar bill, a 100-yen coin などがあるため, a piece[two pieces] of money という表現は聞きませんが, a piece of money という句があっても少しも不思議ではない。

a piece of money	{	a dollar bill
		a 100-yen coin
		a 10,000-yen bill
		a one pound coin
		a dime
		.

以上のように, 語は単に漠然と集まっているのではなく, ある程度の構造をもって集まっていることがわかる。また分業性も見られる。

同じ1つの語でU名詞, C名詞2つの働きをするものがある一方, 上で見た work(仕事)は stone などとは違って a work とは言えても意味が違ってしまふものもある。従って, すっきりした形, 整然とした形の分類はできない。個々の語にあたるより手はない。以下の2つの例はついでに述べたものであるが, 語は個々にあたらなければならないことの例として挙げることにする。

light の場合を考えよう。これはU名詞には「光, 光線」という意味, C名詞として「明かり」「火」がある。U名詞として使う時, 最も一般的な助数詞 piece は使わずに(9), (10)のように使う。(11)のように不定冠詞をつけて使うと, 普通は「(点火するための)火, 火花」の意味になる。(11)'のように使う。

\* a piece of light (9)

a beam[ray] of light (10)

a light (11)

Give me a light for my cigarette, please.  
タバコの火を貸して下さい。(11)'

iron の場合, U名詞は「鉄」という意味があり, 「鉄の1片」は(12)のように言う。cake, stone のようにこの意味(「鉄」)に対応するC名詞はない。(13)だと意味が変わって「1つのアイロン」という意味になる。

a piece of iron (12)  
an iron (13)

5. 小西 編 1994『ジーニアス英和辞典』
6. 竹林 他編 1995『カレッジ ライトハウス英和辞典』
7. 斉藤 他 1983『講座・学校英文法の基礎 第二巻 名詞・代名詞』
8. 安井 1982, 1996『英文法総覧』開拓社
9. 浜口 1986『名詞の類型—物質名詞・抽象名詞』(個人的覚え書き)

## References

1. Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech, and J. Svartvik 1985 *A Comprehensive Grammar of the English Language*
2. 江川 1991『英文法解説』
3. 安藤 1985『続・英語教師の文法研究』
4. 市川 他編 1995『新編 英和活用大辞典』

(三重県立松阪高等学校教諭)

## 編集後記

2003年実施の新学習指導要領では英語の実践力重視が打ち出されました。2003年センター試験でピアリングを導入するかどうかの検討も行われるそうですし、センター試験を基礎的な学力を見る試験と、より高度な試験の2種類にして、2つの試験の使い分けを選択できるようにする案も浮上しているそうです。今後の英語の授業はどう変わっていくのでしょうか。

(前)

先日、知り合いのテキスタイルデザイナーに、輸入服地の冊子を手渡され、訳してほしいと頼まれました。しかし専門用語がいっぱい並んでいて、どのような風合のものか、さっぱり見当が付きません。そこで辞書で調べたままのことばの羅列で説明すると、彼女にはどの生地もすぐ理解できました。やはり、中身がたいせつだと実感した次第です。(中)

## 発行所 数研出版株式会社

東京本社	〒102-0073	東京都千代田区九段北 1-12-11	TEL 03(3265)0811(代表)
関西本社	〒604-0867	京都市中京区烏丸丸太町西入ル	TEL 075(231)0161(代表)
浦和支局	〒336-0018	浦和市南本町 1-16-9-4F	TEL 048(863)6520
札幌支店	〒060-0052	札幌市中央区南 2 条東 2 丁目 9-8 大都ビル	TEL 011(261)1723
仙台支店	〒980-0022	仙台市青葉区五橋 2-7-9	TEL 022(215)6933
横浜支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜 2 丁目 第一生命第 2 ビル	TEL 045(476)3971
名古屋支店	〒461-0004	名古屋市東区葵 3-15-31 住友生命千種ビル	TEL 052(937)3423
広島支店	〒730-0813	広島市中区住吉町 9-9 中木ビル	TEL 082(243)6453
福岡支店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南 1-2-3 住友博多駅前ビル	TEL 092(411)4245

印刷 寿印刷株式会社

平成 11 年 10 月 発行

◆次号は 2000 年 4 月発行予定です◆